

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【公開番号】特開2010-241921(P2010-241921A)

【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-043

【出願番号】特願2009-90857(P2009-90857)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 201/00 (2006.01)

B 32 B 27/00 (2006.01)

【F I】

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 201/00

B 32 B 27/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月1日(2010.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被着体に貼り付け可能な粘着面を有する粘着剤層と、該粘着剤層の背面上に配置された支持シートと、を備えた粘着製品であつて、

前記粘着剤層は、以下の特性：

80で30分間加熱したときのトルエン放散量が、該粘着剤層1g当たり $20\mu g$ 以下である；および、

80で30分間加熱したときの総揮発性有機化合物量が、該粘着剤層1g当たり $300\mu g$ 以下である；

を満たし、

前記支持シートの背面に、緑色および青色から選択される色彩の標章が表示されている、粘着製品。

【請求項2】

前記標章は、揮発性有機化合物量が少ないことを表す文字、図形もしくは記号またはこれらの結合と、前記色彩との結合である、請求項1に記載の粘着製品。

【請求項3】

前記標章は緑色である、請求項1または2に記載の粘着製品。

【請求項4】

前記支持シートの背面の面積のうち、前記標章の面積が5%以上80%以下である、請求項1から3のいずれか一項に記載の粘着製品。

【請求項5】

前記粘着剤層を構成する粘着剤は、水分散型の粘着剤組成物から形成された粘着剤である、請求項1から4のいずれか一項に記載の粘着製品。

【請求項6】

前記粘着剤層を構成する粘着剤は、重合溶媒として酢酸エチルを用いた溶液重合により得られたアクリル系重合体を含む溶剤型の粘着剤組成物から形成された粘着剤である、請

求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の粘着製品。

【請求項 7】

前記支持シートの前面は、該前面から前記粘着剤層の背面を剥離可能な剥離面となっており、

前記粘着剤層は、非剥離性基材の両面に粘着剤を有する両面粘着シートとして構成されている、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の粘着製品。